

9月の動き

プチ就労開拓・推進分野の状況

9月は、今年度下期に向けて自治体からのサポート依頼が相次いだ月となりました。

■自治体（他地域）への事業紹介活動（担当：遠座）

＜大阪府＞

大阪府 福祉部 高齢介護室 介護支援課地域支援グループが、「大阪ええまちプロジェクト」（介護予防や高齢者支援分野で活動しているNPO団体等の困りごとなどを現役職業人が仕事のスキルなどを使って応援するマッチング活動）を推進しています。

これまで、プロボノやイベントの講師などでこのプロジェクトに関わってきたため、このほど大阪府庁で課員の方々に対し、宝塚市の80歳くらいでも無理なく働く健康・生きがい就労トライアルの仕組みや高齢者向けスマホ講座などの活動を説明する機会を得ました。

大阪府担当者からは、各市町村職員と地域包括支援センター職員を対象に12月または1月頃に「地域包括ケアシステムの充実強化研修会」を開催するので、私たちラボの活動事例をぜひ紹介してほしいとの依頼がありました。また、11月2日に行われる健康・生きがい就労をテーマにしたシンポジウム（主催：大阪ガス エネルギー・文化研究所）について、大阪府内各市町村に広報していただきました。

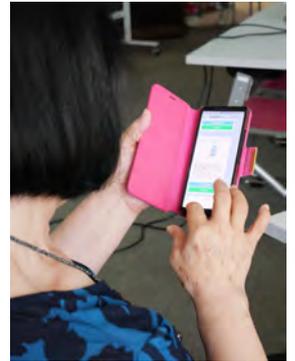
※チラシ別紙添付



啓発・研修事業分野

■「初めての人向けスマホ講座 Android 編他」（担当：山口）

9月2日に先月19日から始まった第2回「初めての人向けスマホ講座 Android 編」を実施しました。今回も19名の受講者を5つのグループに分け、それぞれのグループにチューターを各2名ほど配して、個別に疑問に思ったことをその場で解決できたことに、皆さんご満悦。やさしく寄り添う対応は、アンケートでも高い評価を得ました。特にスクリーンショットやLINEなどが講座中に使えるようになり、チューターたちとアドレスを交換。写真やスタンプなどを送りあいし、楽しさを体感していました。



講習風景、チューターになりたいと意欲的な方も2、3人。最高齢の方への修了書の授与。今回は男女各82歳の方でした。



＜今後の予定＞

フレミラ宝塚から第3回目の「初めての人向けスマホ講座 Android 編」と「ステップアップ講座」を10月から12月にかけての開催依頼を受けました。また、コミュニティすみれからスマホ講座を11月27日と12月4日の2日間で開催依頼を受けています。

さらに、摂津市社会福祉協議会と9月16日に、「摂津市のウィズコロナ・ポストコロナに対応した地域活動モデル事業」の打ち合わせを行いました。市内の12校区においてスマホやタブレットを活用して情報交換する仕組みを構築するにあたって、キーとなるメンバーに向けて、スマホの使い方やグループラインで情報交換するのに必要な知識修得の講座開催に向けて検討を始めました。

＜大阪府大東市＞

保健医療部 介護保険担当課長らと打合せを行い、来年度には大東市で健康・生きがい就労トライアルについて出来ることから始めたいので準備ワーキングに参加して欲しいとの依頼がありました。

＜兵庫県姫路市＞

姫路市とタッグを組んで様々な事業を行ってきたNPO コムサロン21の理事長らと情報交換を行い、先方から姫路市でも健康・生きがい就労トライアルを進めたいので協力して欲しい、播磨地域各市のシルバーカレッジ等で、私たちラボの基本的な考え方である「活動することで元気・健康が維持できる」という話をしてほしいとの依頼がありました。

＜大阪府摂津市＞

“ウィズコロナ、ポストコロナの地域活動モデル事業”として高齢者向けITリテラシー向上策を小学校区毎に進めたく考えている。社会福祉協議会が府の助成金も獲得できたので、ラボのスマホ講座と高齢者等に教えるチューターを養成していきたいとお話がありました。

※■啓発・研修事業分野 <今後の予定> をご参照ください。

9月の動き

■テキストや初心者スキル判定ツールの改訂 (担当：井川)



今までの講座の反省をもとに、内容の改訂および改変を行っています。特に、受講前に記入してもらうスキル判定ツールの重要性を鑑み、注力しています。初心者とひとくちに言っても、自己申告・自己判断してもらった分と実際のスキルに大きな差異があることが多く、正しい指標にはなりません。そのため、各自の活用度、利用度を的確に把握し、適切にグルーピングすることができるチェックシートを大阪大学大学院生である程雨田氏とともに進めています。また、テキストは、フレミラ宝塚では、Androidに絞った講座のためAndroidのみの対応とし、スクリーンショットなどの新たな内容を入れ込む予定です。

■LINEを使ったマッチングサービス“プチ活”の普及拡大 (担当：吉住)

宝塚NPOセンター、宝塚市ボランティア活動センター、NPO法人IKゼミの3団体にマッチングサービスの説明会を実施いたしました。

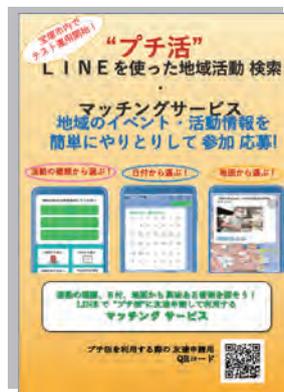


＜ボランティア活動センター＞
10月以降のボランティア活動の募集をマッチングサービス上で行う方向で話し合いを実施。

＜他2団体＞

継続的な説明の場を設け、年度内に活用いただくことを目指し、事業者や非営利活動団体、行政機関など引き続き、説明会等を実施し、使用者拡大を目指します。

プチ活を利用する際の
友達申請用QRコード



広報活動

■朝日新聞東京本社メディアデザインセンターから取材 (担当：遠座、井川)

21日朝日新聞ウェブサイト「なかまある」担当エディターから以下の内容でオンライン取材を受けました。

- ・NPOの立上げ経緯
 - ・介護施設での就労トライアルを通じて得られた知見や課題
 - ・LINEを使った活動マッチングサービス など
- なお、記事のリリースは、11月頃になる見込みです。

10月の主な予定

21日 第1回「ステップアップ講座」第1日目開催予定 (フレミラ宝塚)

23日 健康・生きがい就労ラボ定例理事会

11月2日 大阪ガス エネルギー・文化研究所主催

自治体向けシンポジウム “高齢者が地域の支え手側に
回る四方良しのまちづくり” に登壇

※添付チラシご参照ください。



アラカルト情報

■保育(子育て)サポーター分野 (担当：橋之爪)

シニアによる子育て支援(プチ就労)事例づくりを計画しています。子育て応援団体「宝塚ミライキャンパス」主催のおやこ向けイベント2件を手伝いしていただくというもので、時給1,000円で3時間程度行うものです。募集についての詳細は、11月号の「広報たからづか」をご覧ください。

11月6日(土)「ごみひろい×GPSアートウォーク」

コープ安倉店周辺で、アプリを使ってごみひろいしながら進んだ道をGPSで線にして残して行くイベントです。参加する子どもたちの見守り等の仕事をお手伝いしていただきますが、アプリを使うのでデジタル活用の場にもなります。

12月4日(土)クリスマスイベント

宝塚市立文化芸術センターで、子どもの見守りのほか、ミニステージやマルシェ運営等の手伝いなどをしていただく予定です。

HPのQRコード

FBのQRコード

令和3年9月30日発行

発行：特定非営利活動法人健康・生きがい就労ラボ

理事長：遠座俊明